

財務会計システム更改に関する情報提供依頼書
(RFI)

令和8年7月
福島県西会津町

1. 依頼の背景と目的

本町では、現在稼働している財務会計システムの契約満了に合わせ、次期システムの更改を計画しております。現在、本町では紙ベースのアナログな働き方による業務の非効率化や、システム経費の増加が大きな課題となっております。今後の住民サービス向上や次世代の人材確保に向けては、これら従来の事務を抜本的に見直す「業務改革（BPR）」の推進が不可欠です。つきましては、ペーパーレス化による会計事務の効率化や、電子決裁の導入による業務の生産性向上を実現するため、新たな財務会計システムへの更改に向けたシステム構成、機能、導入費用、導入スケジュール等の情報収集を目的として、本RFI（情報提供依頼）を実施いたします。

2. 現在の環境と課題・要件

（1）システム環境と電子決裁

現状：現在は東芝製の「財務会計システム」「起債管理システム」「源泉徴収システム」「公会計システム」をオンプレミス環境にて運用しており、庁内約165台の業務端末が接続されています。また、人事給与システムとして「BestSide」が導入されています。現状は、紙媒体と手作業に依存したアナログな処理が中心となっています。

要件：次期システムでは、紙主体の処理から脱却し、ペーパーレス化による会計事務の効率化を図ります。また、電子決裁機能により審査・決裁状況の見える化や滞留防止を図るとともに、自席以外等からでも安全に審査・決裁が行える環境の実現を求めます。

（2）システム利用環境およびブラウザ要件

現状：オンプレミス環境での個別運用となっています。

要件：システムの利用形態は、パブリッククラウド（SaaS、PaaS、IaaS等）の利用、または事業者指定のセキュアなクラウド基盤上への構築を基本とします（オンプレミスでの構築提案も排除はいたしません）。また、ネットワークはLWAN-ASPや、インターネットローカルブレイクアウト（ α モデル・ β モデル等）の活用を想定します。クライアント環境は「Google Chrome ブラウザ」での動作確認（または動作保証）が安定して得られることを基準とします。

（3）データ移行および他システム連携

現状：各システムがオンプレミスで独立して稼働しています。

要件：現行システムからのデータ移行は原則として想定せず、独自のカスタマイズも行わない標準機能（パッケージ）での運用を予定しています。また、将来的に「文書管理システム」や「庶務事務システム」とのシームレスな連携を見据えているため、パッケージ間の連携実績や外部接続性（API等）の情報を求めます。

3. 想定スケジュール

- ・ 調達・契約事務（入札、プロポーザル等）： 令和9年4月予定
- ・ システム構築および予算編成入力開始： 令和9年10月予定（令和10年度予算編成に対応）
- ・ 新システム本稼働開始： 令和10年4月予定

4. 情報提供を求める事項

貴社における以下の項目に関するご提案および情報提供をお願いいたします。

（1）財務会計システムおよび電子決裁機能に関する提案

- ・ 会計事務のペーパーレス化、および電子決裁（審査・決裁状況の見える化、滞留防止等）を推進するための機能・運用提案
- ・ テレワーク先や出先機関からでも安全かつスムーズに決裁・審査が行える仕組み

（2）システム利用環境（クラウド・ネットワーク）に関する提案

- ・ 財務会計システムのクラウド環境（SaaS等）での最適な構築プラン
- ・ LGWAN-ASP、またはインターネットローカルブレイクアウト（ α モデル・ β モデル等）を想定した、セキュリティ対策が施されたシステムアクセス構成案
- ・ Google Chrome ブラウザにおける動作保証・稼働環境についての仕様

（3）データ移行・カスタマイズおよびシステム連携に関する提案

- ・ 原則データ移行なし、ノンカスタマイズ（標準機能パッケージ）で導入するための業務適合（フィット&ギャップ）アプローチ
- ・ 将来的な文書管理システムや庶務事務システム等、他システムとの連携手法（パッケージ内包、またはAPI等の外部連携実績）

（4）セキュリティ・認証基盤に関する提案

- ・ 機微な財務データを扱ううえで必要となるセキュリティ機能（多要素認証（MFA）、シングルサインオン（SSO）への対応可否等）
- ・ 端末側の制限や、なりすまし・不正アクセス防止対策

（5）導入・移行計画に関する提案

- ・ 令和9年10月からの予算編成入力、および令和10年4月の本稼働に向けた「全体マイルストーン」と詳細な導入・移行スケジュール案
- ・ 現行システムから新システムへの切り替え期間中において、庁内業務（特に会計処理や支払等）への影響を最小限に抑えるための計画・移行支援策

(6) 運用保守・サポート体制に関する提案

- ・ 24 時間 365 日のサポート体制の有無、障害発生時の一次対応・エスカレーションフロー、法改正（消費税改定や地方自治法改正等）時の無償・有償対応範囲

(7) 過去の自治体への導入実績・事例

- ・ 同規模（類似の人口規模・組織体制）の地方公共団体における、財務会計システム（特にオンプレミスからクラウドへの移行、電子決裁の導入）の実績・事例
- ・ ペーパーレス化やBPRによる業務時間・コスト削減の具体的事例

(8) 概算費用（参考見積）

次期システムの導入および保守における、現時点での概算費用（5年間のライフサイクルで算出したもの）を以下に分類して提示してください。

- ・ 初期導入費用： システム構築費、導入・設定支援費、研修・操作指導費等
- ・ ライセンス費用（ランニング）： 月額または年額の利用料・サーバー保守費
- ・ 運用保守費用： 年間のテクニカルサポート・法改正対応等の保守費用

5. 本 RFI への参加表明方法

本 RFI への参加をご希望される場合は、期日までに下記担当宛てに本町公式ホームページから入力フォームへの入力により表明をお願いいたします。

- ・ 提出期限（参加表明）： 令和8年7月31日（金）17時まで
- ・ 参加表明方法： 本町公式ホームページ内の指定入力フォームよりご入力ください。
- ・ 表明時入力内容： 表明の同意、貴社名、部署名、ご担当者名、連絡先電話番号
- ・ 参加資格：
 1. 財務会計システムの販売、構築、保守の実績を有すること。
 2. 地方公共団体への情報システム導入・改修実績を有すること。
 3. 情報セキュリティに関する適切な管理体制を有すること（ISO/IEC 27001 等の取得が望ましい）。
 4. 反社会的勢力に該当せず、またはこれと一切の関係がないこと。
 5. 破産、民事再生、会社更生手続き中でないこと。

6. 回答方法・提出期限

- ・ 回答提出期限： 令和8年9月9日（水）17時まで
- ・ 提出方法： 指定の提出先メールアドレスへ、電子データファイル（PDF、Excel、Word 等）を添付してご提出ください。
- ・ 提出先・問い合わせ先窓口： 西会津町総務課
- ・ メールアドレス： soumu@town.nishiaizu.fukushima.jp